

令和3年度

湖南省公共施設等マネジメント推進委員会
議事要旨

第1回会議

(令和4年3月 30 日開催)

湖南省行財政改革推進課

出席者

委員長

新川 達郎

委員

境 和彦

山本 實

古市 泰丸

西山 由記

福島 由美子

事務局

総務部長

井上 俊也

行財政改革推進課長

野崎 博

行財政改革推進課長補佐

森岡 和也

行財政改革推進課長補佐

園田 孝志

行財政改革推進課主任主事

谷口 達哉

開会 午後2時00分

総務部長

【総務部長挨拶】

年度末の中、ご出席をいただきまして大変ありがとうございます。

本市におきましては、人口減少など環境が変化する中で、総合計画に掲げております、まちの将来像の実現に向けて取り組んでいるところでございます。持続可能な行財政運営と健全化のため、建設後 30 年以上経過した公共施設が 50%を超えております本市におきましては、維持管理費を抑制するため、施設の必要性についても検証していかなければならないと考えているところでございます。そのため、今後 10 年間の方向性を示すため、昨年度湖南省公共施設等総合管理計画個別施設計画を策定させていただいております。本日の委員会では今年度の進捗状況を報告させていただきまして、皆様のご意見を賜り、今後の進捗管理に生かして参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

委員長

【委員長挨拶】

お集まりをいただきましてありがとうございます。

湖南省公共施設等マネジメント推進委員会につきましては、これからの湖南省の市民サービスや、行政の体制を持続可能なものにしていくのか大きな役割を担っていると考えております。

先ほども総務部長からありましたように、将来どういう日常になっていくのかといったようなところも踏まえて、これからの公共施設のあり方というのは、少し動向を読み取りながら考えていかなければならないかなというふうに改めて思っております。

公共施設等総合管理計画を策定され、個別施設計画についても策定をされてきているところではございますけれども、昨今の状況というのをしっかり見据えながら、進捗管理を適切にし、必要があれば積極的に見直しをしていくといったようなことも必要ではないかというふうに思っております。

その点でも、当委員会の役割、大変重いかと思いますが、しっかりとご議論をいただければというふうに思っております。

事務局

【会議の成立についての報告】

【会議の公開、会議内容の公表についての確認】

	議題 1) 湖南省公共施設等総合管理計画の進捗状況について 【資料1、2、3に基づき説明】
事務局	
委員	今回のこの資料3の進捗管理シートは、令和3年3月の個別施設計画に基づくものか。
事務局	個別施設計画に基づき進捗管理シートを作成しております。ただ、個別施設計画のスケジュールよりも進捗管理シートのスケジュールの方が遅れているというのが現状でございます。
委員	ほとんどの施設が遅れているということは問題である。 当初の計画からずれ込んでいく要因等を、一定整理しておく必要がある。遅れるということはそれに対するコストがかかり続けるということである。
事務局	計画と整合性を図るよう修正し、遅れるようであれば理由を整理して、計画を見直すなど対応を行っていきます。
委員	公共施設を様々な部署で管理するのではなく、一括して管理する部署を立ち上げたほうが一貫性があるのではないか。あと、この委員会は部会を立ち上げることができるがどのような部会を想定しているか。
事務局	それぞれの施設に設置目的があるため、取りまとめを行う部署として行財政改革推進課がありますが、横断的な組織の設置については現在予定がない状態です。部会については、1つの施設を調査検討するなどを想定していますが、現在予定はしておりません。
委員	毎年、国や県の施策によって市の施策も変わってくるので、施策によっては、方向性を見直すことも考えられる。随時、この計画を進めていく中で、見直す必要が出てきた場合には見直していただきたい。
委員	進捗管理の部分で、担当部署がバラバラなので1つのところで見られるのであればそれが一番いい。あと、資料1の10年間の削減面積は達成しているので、ほっておくと経費は掛かるが、焦らずじっくり考えていただきたい。
委員長	まだまだ、検討しなければならない施設はたくさんあるので、引き続き検討する必要がある。施設管理を一本化できれば、それにこしたことはないが、

	各担当で施設を利活用されているという経緯もあるため、施設部のようなところで統合的に管理するのも、現時点ではまだまだ難しいのが実情なのかと思われる。この辺りも、全体を見渡した上で検討いただければと思う。
事務局	来年度、総務課の中に施設の営繕係ということで、他の施設の営繕をサポートするような体制を構築する予定で進んでおります。委員さんのおっしゃるとおり、もう一つ大きい営繕課等、公共施設を管理できるようなものができたら望ましいのですがそこまでは至っておりません。
委員	合併することによってのメリットをもう 1 回ちゃんと精査して欲しい。営繕という話があるが、組織の進め方についてはトップの強い意思がないと進まない。行政の一番上からどうしていかってということを考えた上で、整理するものを整理して残すところは残すということをきちっとして欲しい。 きれいじゃない学校を見ても、なかなか夢が描けない。庁舎にしても、今の時代に合った優秀な人材が集まれるようにしていただきたい。
委員長	資料3進捗管理シートの中で、個別施設計画から遅れている部分についてはまさに進捗管理をしていかなければいけない大きな課題である。このあたり議論が進むように、環境づくりを事務局として務めていただきたい。
委員	資料3の進捗管理シートをもっと見やすいように、遅れが生じているところがわかるように 1 枚にまとめてほしい。
事務局	一覧でわかりやすい資料を表題にまとめ、次回ご提示いたします。
委員	組織体制の話になりますが、すべての部を束ねる部署などを設置することにより、もう少しスピーディーに物事に取り組めるのではないかと思います。
委員長	今のご意見を踏まえて、さらに行政改革の推進体制についてはご検討いただきたい。
委員長	【委員長総括】 本日、委員の皆様からは様々なご意見をいただきました。 1点目は、公共施設の管理を進めていく上での体制づくりということで、よりしっかりとしたこの計画の実行ができる体制を考えていただきたい、また、施設の維持管理について、営繕部門の設置等進めているという報告があり

ましたが、さらに適切な施設管理が進み、かつ計画的に進んでいくような体制というのを、今後も検討いただきたいという意見がございました。

2点目は、施設の今後のあり方について、市民の方、利用者の方々と議論をしながら、良い施設のあり方を目指してさらに検討をしていただきたいという意見がございました。

3点目は、今後の状況の変化に応じて施設のあり方を考えていかざるをえないかと思われます。そうした状況に柔軟に対応しながら、将来の展望を持ちつつ、計画の見直しをしていただきたいという意見がございました。

4点目は、公共施設の今後のあり方ということについて、将来の湖南市のまちづくりといったような観点でも、施設のあり方というのが大きく変わって参りますので、将来への希望が育めるような総合管理計画の実行というご要望もいただいていたかと思しますので、よろしくお願いをしたいと思います。

そうしましたら、本日の議題、令和4年度からの進捗管理について4月からの施設管理に向けて、各部門、各部局でしっかりと議論を進めていただけるように事務局の方でご尽力をいただきたいと思います。次年度は、中間段階および年度末の実施状況と、その段階での見通しを報告いただけるかと思しますのでよろしくお願いします。

事務局

ありがとうございます。

本日のご議論を踏まえまして、検討させていただきたいところもたくさんございますので、次回にご報告させていただきたいと思います。

本日は誠にありがとうございました。

終了

閉会 15:00